

時代を切り拓く航海へ



東海大学 学長
山田 清志

水平線を越え、未来を切り開くリーダーシップ



東海大学国際教育センター所長
事業責任者
山本 佳男

皆さんが社会人となって働く20年後の姿を想像してみてください。そのころの世界では、人工知能や国際ネットワークが大きく発達し、人やモノ、資本の国境をこえた移動が今以上に盛んになり、幸福や豊かさの価値観も大きく変わっていることでしょう。そして皆さんは、文化や信仰の違い、さまざまな国籍の人とコミュニケーションを取り、信頼関係を築きながら働いていることでしょう。極東の中心都市であるウラジオストクを訪れ、ロシアの学生と「望星丸」の中で寝食を共にしながら語り合う今回の研修航海は、異文化に接し、これからの時代を自ら切り拓く力を磨く貴重なチャンスです。

東海大学は日本と旧ソ連の間にほとんど国交がなかった50年以上前から、学生を相互に派遣し、研究者同士が両国に共通する課題について語り合う機会を数多く設けてきました。そこには常に、人と人の対話に基づく信頼関係こそが平和で豊かな世界を構築するための礎になるとの思いがありました。そして事実、本学の交流活動に参加し、成長した多くの日本人とロシア人が両国の架け橋となって活躍しています。皆さんにもぜひその一員になってもらいたい。将来の可能性を広げる航海にぜひ参加してください。

日本海の水平線の彼方に、みなさんは何をみるでしょうか。1989年、みなさんの先輩たちは、70年近くに渡って閉ざされたウラジオストクへの航海に旅立ち、歴史の新しいページを作りました。

それから約30年、望星丸は新しい使命を帯びてウラジオストクへの航海に出ようとしています。本プロジェクト、「ライフケア分野における日露ブリッジ人材育成：主に極東地域の経済発展を目的として」は、東海大学が長年取り組んできた、文系理系の枠を越えたライフケア人材の育成と、国際教育センターが取り組んできた、世界との学術青年交流の成果を融合し、世界に還元する壮大な取り組みです。

私たちの大学の留学の輪は世界20の国や地域に拡大し、59のコースで毎年多くの学生が学んでいます。留学を終えた学生に会うと、行く前とは別人のように大きく成長し、留学経験を話してくれます。海外での1セメスターは、日本での生活の何倍もの経験を与えてくれるようです。

ある講演で、ロシアで活躍する方が、リーダーシップについてこう話していました。「リーダーとマネージャーの違いは何か。それは、マネージャーは水平線までの見える範囲の仕事を、リーダーは水平線の先、見えない仕事をする」。今回、ウラジオストク航海に参加する多くの学生にとって、ロシアやウラジオストクは見えない水平線の先にある、未知の経験だと思います。見えない先への恐怖とためらいを乗り越えて、ぜひとも大きく成長し、日本を、そして世界を導くリーダーとなる一歩を踏み出してください。

みなさんが世界に学び、グローバルに活躍できるよう国際教育センターでは全力でサポートしていきます。

よくある質問

参加費用には、なにが含まれていますか

A 例えば東海大学熊本校舎の学生の場合、熊本空港から新千歳空港までの空路、新千歳空港から留萌までの陸路、留萌出港からウラジオストクを経て清水へ帰港するまでの航路、ウラジオストクでの滞在、清水から羽田空港までの陸路、熊本空港までの空路を全て大学が負担します。なお、ウラジオストクにおける個人消費や、パスポートやビザ申請にかかる費用は自己負担となります。

ロシア語が話せないのですが、大丈夫でしょうか

A 研修中は英語が公用語となります。しかし外国語能力が参加の必須条件ではなく、この研修で前向きにコミュニケーションを取りたいと思う姿勢がなによりも大事です。その積極的な気持ちを、選考過程で存分にアピールしてください。

東海大学が毎年行っている海外研修航海と、どう違うのでしょうか

A 毎年行われている海外研修航海は、学校法人東海大学に所属する学生のみに参加資格が与えられる特別な航海です。次の第50回海外研修航海は、2019年2月から3月にかけて実施される予定です。今回のウラジオストク航海ではロシアを含めた他大学の学生も一緒に乗り込み、船内で国際文化交流と人的交流を図ることを目的としています。第50回海外研修航海に興味ある人が、今回のウラジオストク航海に応募するのも良いでしょう。

文部科学省「大学の世界展開力強化事業(ロシア)」採択事業 「ライフケア分野における日露ブリッジ人材育成」プログラム

東海大学 平成30年度海外研修

ウラジオストク航海

В л а д и в о с т о к



日露交流を担う国際人になろう。
きらめく夏のウラジオストクへ、
航海を通して成長する9日間。



東海大学の全国のキャンパスの学生をはじめ、日本の他大学やロシアの大学の学生も集まり、船内研修とウラジオストク訪問で交流を深めるプログラムです。

研修期間 8/7 tue ▶ 15 wed 9days

旅程 新千歳空港経由・留萌港(出国) ▶ ウラジオストク港 ▶ 清水港(帰国)

参加費用 15,000円(実費) 空路を含む交通費・研修中の食費等を含んだ金額です。

応募のお問い合わせは、国際教育センターまで

主催/東海大学
事務局/東海大学国際教育センター事務局 TEL0463-50-2086 担当:星野・釜澤



東海大学

平成30年度海外研修 ウラジオストク航海 募集要項

■研修目的

この航海では、日露間の関係深化と経済発展に資する人材の育成を目的とし、本学の海洋調査実習船「望星丸」によるウラジオストク訪問を実施します。船内では他大学の学生やロシア学生と共同生活し、洋上で日露学生約100名による交流・学生会議等を幅広く実施することで、人的交流の拡大を目指します。

■研修内容

東海大学の学生、他大学の学生、更にロシア学生も交え、乗船する引率教職員とともに共同生活を営み、往復ともに海路でウラジオストクの極東連邦大学を訪問します。船内では船上講座や学生会議等の研修プログラムを実施し、日露学生の国際交流を深めます。

■募集資格

- ・応募資格：心身ともに健康な東海大学の学生
本学の指導に従う者
国籍を超えて学生交流に意欲のある者
事前研修および本研修の全日程に参加できる者
- ・募集人数：日露あわせて104名
- ・研修期間：2018年8月7日(火)～8月15日(水)の9日間
- ・使用船舶：東海大学海洋調査研修船望星丸(2,174トン)
- ・コース：新千歳空港経由・留萌港(北海道)→ウラジオストク港(ロシア)→清水港(静岡)
- ・参加費用：15,000円 ※空路を含む交通費・研修中の食費等を含んだ金額です。
- ・参加申込：以下のアドレスから応募書類をダウンロードし、必要事項を記入したのちに、応募期間内に電子メールにてお送りください。
応募書類ダウンロード先：<http://www.tokai-international.jp/outbound/> → NEWS ウラジオストク航海募集のお知らせ
送信先：件名を「日露学生海外研修」とし、以下の書類をtokaivvo@tsc.u-tokai.ac.jpへ送信してください。
 - Application Form
 - Motivation Essay
 - 英語検定試験スコアコピー(ある場合のみ。高解像度であれば、写真でも可。)※本申込により大学が収集する個人情報は、本研修に伴う業務にのみ使用し、これ以外での目的では一切利用されることはありません。
※氏名のローマ字はパスポートに表記されているとおりに記入してください。



・申込期間：2018年4月2日(月)～4月27日(金)

■選考過程

東海大学の学生に対しては、書類による一次選考と面接による二次選考を予定しています。

- ・一次選考(書類)：申込時の提出書類をもとに選考します。
- ・一次選考結果発表：5月11日(金)17時までに、合格者にのみ電子メールでお知らせします。
- ・二次選考(面接)：5月14日～18日のうちのいずれかの日に、1人10分程度の面接を予定しています。一次選考発表時に電子メールで案内をお送りします。
- ・二次選考結果発表：6月15日正午までに合格者にのみ電子メールでお知らせします。
- ・参加手続：2018年6月15日(金)～6月29日(金)
- ・二次選考合格者発表時に、必要書類を指示します。国際教育センターへ提出し、参加費用15,000円を手続期間内に納入してください。
納入後、自己都合により参加を取りやめる場合は、原則として以下の基準により返金を行います。但し、処理にかかる実費と振込手数料は本人負担とします。
 - ◇2018年6月15日(金)～6月29日(金) …… 全額返金
 - ◇2018年6月30日(土)～7月28日(土) …… 50%返金
 - ◇2018年7月29日(日)～出港当日 …… 返金なし

- ・渡航手続：合格者は7月20日までにパスポートを用意し、7月20日～7月31日の間に電子ビザを取得してください。
詳細は2次選考合格者に対して案内をお送りします。
- ・事前研修：2018年7月28日(土)に、各キャンパスをテレビ会議でつないで行います。
補講受講者は補講が優先されるので、国際教育センターに問い合せてください。
- ・旅行保険：主催者により以下の保険が参加者に対して加入されますが、各自で別途、任意の海外旅行傷害保険に加入することは差し支えありません。

傷害死亡	500万円	傷害治療費用	200万円
傷害後遺障害	500万円	疾病治療費用	200万円
疾病死亡	500万円	救援者費用	500万円
賠償責任	5,000万円	※補償項目、金額は予定	
- ・その他：
 - ◇参加申込後の日程等、詳細に関しては随時通知します。
 - ◇天候等の事情で研修日程やプログラムなどが変更になる場合があります。
 - ◇病気その他いかなる理由にせよ、大学が計画した交通機関以外で帰国した場合の費用は、自己負担となります。
 - ◇留学生は、ロシア連邦への査証が入手できない場合や在留期限までに再入国できない場合、参加資格を取り消すことがあります。

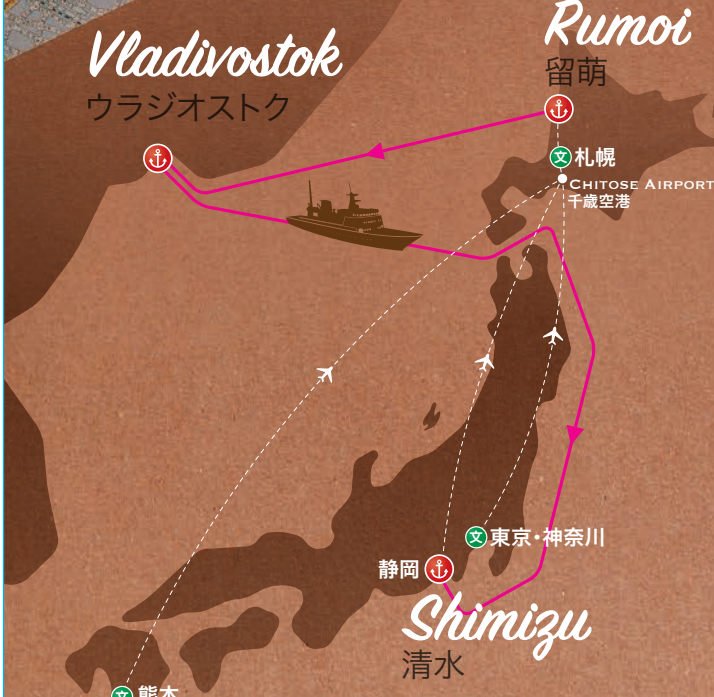
■引率教職員の構成

引率責任者1名、副責任者2名、看護師1名、引率教員10名の計14名

■お問い合わせ

国際教育センター 電話0463-50-2086 担当：星野・釜澤

平成30年度海外研修 ウラジオストク航海 概要



東海大学とロシアとの関わり



1973年	モスクワ大学との学術交流協定締結
1974年	モスクワ大学からの留学生受入れ開始
1987年	第1回アジア環太平洋学長・研究所所長会議 (ウラジオストク・極東国立総合大学)
1989年	極東国立総合大学との学術交流協定締結
1989年	東海大学海洋調査実習船「望星丸2世」が 西側諸国として戦後初のウラジオストク港入港
1991年	東海大学海洋調査実習船「望星丸」の ウラジオストク港入港
2003年	東海大学海洋調査実習船「望星丸」の ウラジオストク港入港
2005年	日露修好150周年記念行事 「ウラジオストク演武会」
2007年	日露学生フォーラムの共催
2009年	プーチン首相(当時)に名誉学位授与
2015年	東方経済フォーラムに本学学長初参加

Schedule

	日本学生	ロシア学生
8月7日(火)	各校舎から新千歳空港へ集合→留萌港へ移動・乗船	
8月8日(水)	留萌出航(日本出国)～航海1日目	
8月9日(木)	航海2日目	
8月10日(金)	ウラジオストク入港～極東連邦大学にて大学交流1日目	
8月11日(土)	大学交流2日目	
8月12日(日)	ウラジオストク出港～航海1日目	乗船
8月13日(月)	航海2日目	
8月14日(火)	航海3日目	
8月15日(水)	航海4日目～清水入港(日本入国)	
(8月16日以降)		日本研修→ロシア帰国

Data ウラジオストクについて

ウラジオストクは、ユーラシア大陸の東から日本海に突き出した半島の先端にある都市で、経済と文化でロシア極東地方の中心となる街。市の中央には、天然の良港、金角湾が深く入り込んでいる。この街の歴史は、1860年に帝政ロシア極東進出の拠点として建設されたことに始まる。それ以来、ロシアの軍事拠点であったため、周辺には19世紀から20世紀までの様々な軍事史跡が点在している。現代でも、ロシア太平洋艦隊が基地を置いている。

日本との関わりも深く、日露戦争ではロシア軍の要衝として機能した。その後、ウラジオストクに住んでいる日本人が6000人まで増え、日本人街があった時期もある。1917年からのロシア革命では、日本軍がシベリア出兵の中心地として利用した。ソ連時代は、閉鎖都市として日本との関わりも絶たれたが、1980年代後半から、再びロシア極東の首都として日本との関わりを深めていった。2012年のAPEC開催からは、港湾や空港の整備拡張、市内のインフラも更新され、ロシア極東の経済・文化・社会の中心として新たな発展の時代に入っている。



Vladivostok